



ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室 第40号 2022.11.20 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <https://hachisoku.org> ① hachisoku@gmail.com ☎ 042-686-0820

ゆうちょ銀行振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室

他行からは ゆうちょ銀行:018-0224460 八王子市民放射能測定室



7月2日お茶会 「原発を並べて自衛戦争はできない」

元原発技術者 小倉志郎

本年7月2日、ハカルワカル広場の主催で15年来の私の持論である「原発を並べて自衛戦争はできない」を題としてお話をさせていただきました。その骨子をここに記します。

1. 放射能の怖さ

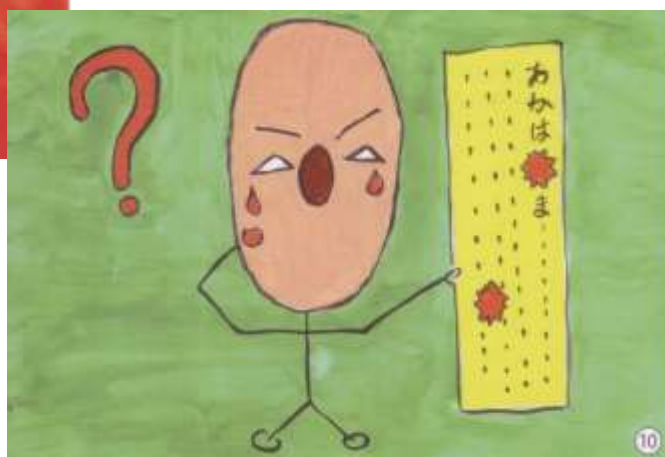
私たちの身体を構成している数十兆個の細胞の一つひとつには先祖から引き継いだ遺伝子がある。遺伝子は細胞の核の中にあり、人類としての特徴を代々継承して行くための情報が載っている。それはタンパク質が何億個と連なる2重螺旋構造をしており、放射線という目に見えないほど小さな「弾丸」に当たると壊れやすい。とりわけ、微細な放射性物質を体内に取り込んでしまった場合の「内部被ばく」は防ぎようがなく非常に恐ろしい。被ばくにより起きる病気は多様で、かつ、治療が難しい。放射性物質は運転中の原発から日々環境に放出されている。(以下参照)

小倉志郎作 紙芝居 「ちいさなせかいのおはなし」より



ところがこの遺伝子は放射線という目に見えない小さな弾丸に当たるとこわれやすいのです。

放射線に当たったお手紙はところどころがやぶけてしまい読めなくなってしまう。お手紙を読めなくなった細胞は正しく働けなくなってしまう。



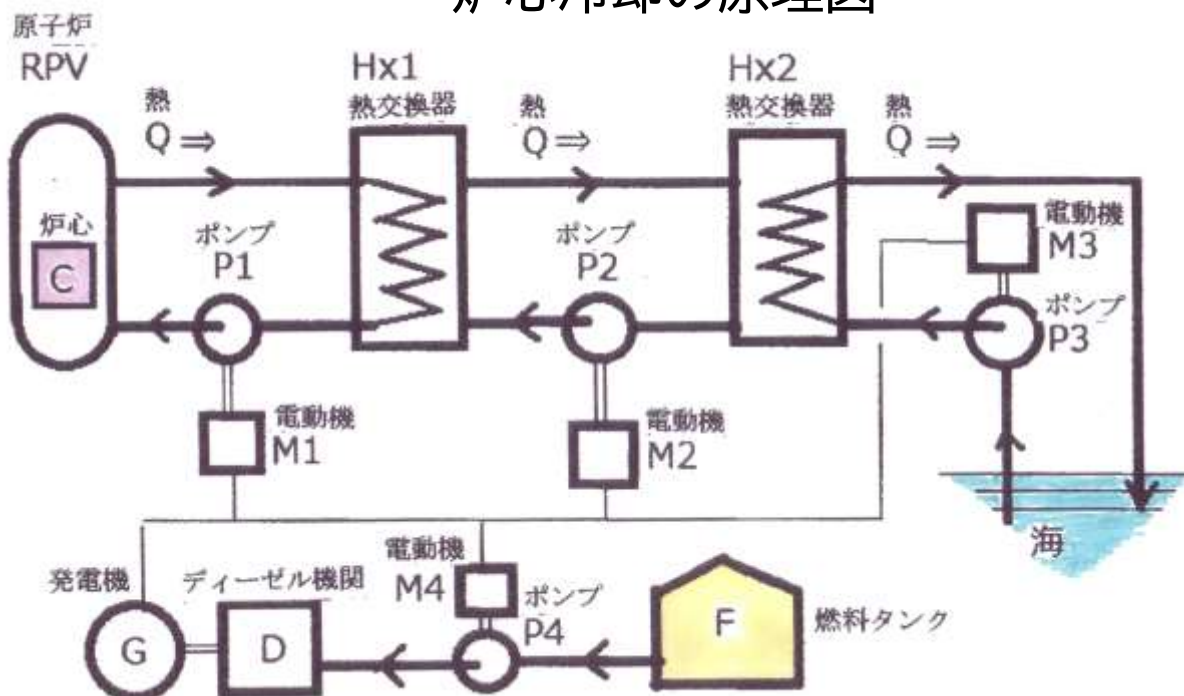
2. 原発の危険性の核心

原発が事故など異常事態に陥った場合、「止める」「冷やす」「閉じ込める」という3つの機能が求められている。「止める」は原子炉内の核燃料に含まれるウラン 235 の核分裂連鎖反応を止めることで、これは原子炉内に中性子を吸収する物質を入れることで行う。これで核分裂による発熱は止まる。しかし、発熱にはこの他にウラン 235 が分裂してできた欠片(核分裂生成物)が放射線を出し続け、その放射線のエネルギーが熱に変わる「崩壊熱」がある。「冷やす」はこの「崩壊熱」を冷やすことである。「閉じ込める」とは万一原子炉から放射性物質が漏れ出した場合に、その外側の原子炉格納容器内に閉じ込めて放射性物質が環境に漏れないようにすることである。この他に猛烈に高レベルの放射能を内部に溜め込んだ使用済核燃料が貯蔵プールに大量に保管されており、このプールが破損した場合には大量の放射能が環境に漏れ出す危険性がある。

3. 武力攻撃から原発防護の不可能性

原発は運転中も停止中も炉心では崩壊熱が出続けている。運転中は炉心の熱はタービン系に運ばれているが、停止中は別の方法で熱を海に運ばねばならない。その方法を「炉心冷却の原理図」に示す。武力攻撃を受けた場合、発電が止まり原発は停止状態になるのでこの図に示すシステムが運転されねばならない。炉心で発生した熱は炉水が回るループ、中間の淡水のループ、海水のループがそれぞれ熱交換器を介してつながり、熱を炉心から海へと運ぶ。各ループにはポンプがある。そのポンプを動かす電動機は非常用ディーゼル発電機から供給される電気で動く。ディーゼル発電機はディーゼルエンジンで動くが、その燃料(軽油)はタンクに貯蔵されており、その軽油を燃料ポンプで送り運転する。燃料ポンプの電動機もこの非常用ディーゼル発電機による電力で運転する。炉水ループと非常用ディーゼル発電機は原子炉建屋やそれに付属する建屋内部に置かれるが、海水ポンプ、海水熱交換器、および燃料タンクなどはほとんどが屋外ないし雨風を防ぐ簡易な建物に置かれる。従って、炉心冷却システムの機能を止めることは小型兵器によって簡単にできる。まして、はるかに強力なミサイルもある現在、このシステムを武力攻撃から守ることは不可能である。

炉心冷却の原理図



4. 原発を並べて自衛戦争はできない

戦争になり、原発が武力攻撃にさらされれば、炉心冷却が不可能になり、重大事故が起こる。そうなれば、3・11フクシマ事故のように大量の放射能が環境に漏れ出し、大混乱の中で国民は逃げまどうことになる。現代の戦争はミサイルがどこへ飛んで来るか分からないから逃げる場所も無い。その上、放射能で汚染した国土ではたとえ戦争が終わっても、人が子どもを産み育てることはできない。これは日本の滅亡である。自衛のためという立派な理由があろうとも、原発を並べていては戦争はできないのだ。

5. お願い

上記の内容を納得された方は、ぜひ身近な方がたに伝え広めていただきたい。



【小倉志郎さん プロフィール】

1941 年5月、東京生まれ。慶応義塾大学工学部機械工学科卒、同大学院修士課程機械工学専攻修了。日本原子力事業(後に東芝に吸収合併)に入社。35年間一貫して、原子力発電所の見積・設計・建設・試運転・定期検査・運転サービス・電力会社社員教育などに携わる。退職後、「軍隊を捨てた国 コスタリカに学び平和をつくる会」の設立に参加。現在、同会世話人。国会事故調の協力調査員。原子力市民委員会」のメンバー。

2007年に筆名山田太郎で論文「原発を並べて自衛戦争はできない」を雑誌「リプレーザ」に投稿。<http://chikyuzo.net/archives/8887>
著書『元原発技術者が伝えたいほんとうの怖さ』彩流社 2014年7月
紙芝居『ちいさなせかいのおはなし』

【参加者からの感想抜粋】

- 最初の紙芝居は、細胞の説明から入っているのがいいと思いました。放射線がなぜ危ないのかを端的に説明していてすごいと思いました。放射性物質(ちり)があつたらどんなに少なくとも安全ではない。事故があつたら安心して住める土地はなくなる、という言葉に、事故後の放射性物質が身近にある環境で暮らしていることに慣れてしまつてはいけないのだと改めて思いました。
- 原発の構造がよく分かった。戦争と原発を結び付けて話をされたのがよかった。原発作業に不信を持ちながらも一般の人に真相を知らせるためにそこで働き続けたことに感服した。
- 平和という前提条件が崩れている今、日本にある原発が武力攻撃を受けたらどんな問題が生じるかがよくわかりました。原発を建設し増え続ける危険な使用済み核燃料を抱える日本がやらなければならないことは、防衛費を増やし戦闘機を買うことではなく、戦争を回避するために外交力をつけることしかないと思いました。
- 311の事故の前から、原発の危険性を平時ではなく戦時に見立てて考えていたという視点の鋭さに驚きました。原発は普通に稼働しているだけでも放射性物質をまき散らし、処理できない核廃棄物を出し続けていて、それは平和なときでも危険で大きな問題であるのに、もし原発を標的にした攻撃が加えられたらと考えると、本当に恐ろしくなりました。
- 使用済み核燃料が原子炉と同じように危険であること、それが格納容器の外に出されて無防備な状態に置かれていることなど、具体的に教えていただき、背筋が凍る思いでした。ベントの質問が出た時、「放射能を環境中に出すという思想そのものがすでに原発はダメだということになる」と言われた時、本当に目から鱗でした。
- 実際に原発の中で仕事をされた方の話を聞くことで、原発の危険性を肌で感じる事ができた。一般に我々が目にする原発関連の報道だけでは、原発の中で実際何が起きているかを知ることは出来ないとも言われた。



9月3日お茶会「毎日の中の憲法」

維持会員 くぼい なみ

私は 2015 年から身近な友人や知人を中心に日本国憲法を伝え続けています。憲法を専門に勉強した訳でもなく仕事で使う訳でもありませんが、ある日「憲法カフェ」に参加したことをきっかけに、友人や知人と一緒に憲法や政治のことを話したいという思いでこの取り組みを始めました。今でもずっとその思いは変わりません。

私が憲法を伝える時に大切にしていることは、憲法を日常に落とし込んで伝えることです。そうすることで憲法が身近になるし、改憲のおかしさも実感しやすいと考えるからです。私自身、憲法を知ってから考え方にたくさんの変化が起きました。「人権」という視点で物事を捉えられるようにもなりました。

ニュースを見ていても、それまで善悪という枠組みだけで漠然と判断していたことの輪郭がはっきりとして、何がどう良いのか悪いのかがはっきりとわかるようになりました。

私は 2011 年の原発事故をきっかけに政治に関心を持ち、勉強会やデモに参加するようになりました。その中でハカルワカル広場の皆さんとも出会いましたが、憲法第 21 条の「表現の自由」を知り、それまで少し特別なことだったデモへの参加が「当然のこと」と思えるようになりました。発信し、伝えることや知ることの大切さは原発事故を通して身に染みていましたが、それが権利だと知ること、それまで以上にはっきりとものを言えるようになったように思います。

日本国憲法の要の条文第 13 条では「すべて国民は、個人として尊重される。」とあります。この条文を知ったとき、私はどこに所属しようかと「私」でいて良いのだと気づき、とても心強い気持ちになりました。

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

公共の福祉、なに？

憲法によって守られている数々の私たちの権利は、いつまでも簡単に守られる訳ではないと書かれている第 12 条では、私たちの自由や権利は「国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。」とあります。

憲法を守ろうにも憲法を知らなければ守りようがありません。そして知ったからといって急に身につくわけではなさそうです。私が心掛けていることは、まず「私の人権」に目を向けることです。それが周りの人の人権について考えることに繋がると思うのです。

政治も社会状況もこの数年ですますすきな臭くなってしまいましたが、以前辺野古を訪れたときに「勝つ方法はあきらめないこと。」というスローガンを見ました。

私もほんの数年前まで何も知らなかった 1 人です。でも、あきらめずに声を挙げ続けてくださった方々がいたから私も知り、声を上げることができました。第 97 条には「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」だと書かれています。

一人ひとりが毎日の生活の中で憲法を使いこなしていくことが、私たちの自由や権利を守り続けることにつながるのではないのでしょうか。

【くぼいさんお薦めの本】

- 『えほん日本国憲法』 野村まり子 絵・文、笹沼弘志 監修、明石書店 2008 年 9 月 1 日
<https://www.akashi.co.jp/smp/book/b65820.html>
- 『檻の中のライオン』椋大樹著、かもがわ出版 2016 年 6 月
<http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/a/0842.html>

【くぼいなみさん プロフィール】



2011 年の 原発事故をきっかけに社会に対して声を上げ始めました。2014 年に初めて「明日の自由を守る若手弁護士の会」の「憲法カフェ」に参加。初めて憲法や改憲案に触れた驚きや「知らなかった！」を広めたいと思い、翌年より友人を始め、身近な人たちに憲法を伝える「憲法のおはなし」を始めました。

友人の家やカフェなど小さな繋がりの中で回を重ねて、これまでに 70 回以上会を続けています。

くぼいなみの「憲法のおはなし」 ホームページ

<https://ameblo.jp/ohanashi13/entry-12245235981.html>



【参加者からの感想抜粋】

- 何も知らない人に向けての易しい話を、場所や手段を変えて何回もすることで興味を持つ人や知っていて当たり前が増えると思うのでずっと続けていってほしいです。
- 憲法と言うと私たちの日常生活においては抽象的な概念になりやすいのですが、今日のお話は講師の日常生活から沸き起こってきたことが語られていましたので憲法とは何かということを考えるきっかけになると思いました。
- 残念なことに、今の日本の現状では、日本国憲法は、単なる絵に描いた餅のような存在になってしまっていて、憲法を守るべき権力者たちが、憲法を無視した政治を行い、かつ、憲法の上に米国の存在があるという現実です。日本が本当に民主主義の国になるためにも、もう一度、日本国憲法を学び直し、憲法の理念を現実の社会に正しく反映させる政治家を国会に送ることが大切なのだと思います。
- 憲法初心者だけでなく、私を含め曖昧な知識で分かったつもりになっている人も、もう一度学びなおさないといけませんね。特に教育に関わる人には、人権という観点からも、今回のお話を聞いてほしいと思いました。
- 「憲法は暮らしを守ってくれるのだ」という気づきが素直な言葉で語られ、本当に感動しました。そして心にスーッと入ってきました。久保井さんと言う存在が憲法をこんなにも身近に近づけてくれる、これが市民一人一人が力をつけるということなんだ！と思いました。
- 自民党改憲草案では憲法の心が書かれている憲法前文も書き換えられるとのこと、個人を縛って生きにくい世の中にならないように、大切な憲法を知りちゃんと考えていきたいと思えます。
- 憲法の条文一つ一つと自分を結びつけて感じたり考えたりしている久保井さんのお話がとても新鮮でしたし、それぞれ私もなるほどと納得しながら伺いました。
- 憲法で決められていることが、なぜ違う方向に行ってしまうのか不思議でしたが、今日お話を聞いて、これを防ぐ方法があるかもしれないと思えました。きちんと理解して、声を上げることだと！
- 参加者から「新鮮だった」と言われたのは、憲法を学んだことでくぼいさんご自身が実際に行動を変えた(自分は個人として尊重されるのだと気づき、個人として自由に発言できるようになった。デモは権利なのだとして堂々としていられるようになった、など)ことを話してくださったことで、憲法が本当に身近なところで生きるのだ、ということを実感できたからだと思います。
- 憲法を身近に感じました。実はこれがとても大切なことで、憲法論争よりも、自分が運動の中で憲法の大切さをわかっていられるのに感銘を受けました。

ハかってワかった話

二宮 志郎

絵に描いた餅米

「ばかばかしくてもう萎えた」となってしまうと、真剣に考える気力がなくなります。日本政府の次世代原発活用方針というのは、ひょっとしてそれが狙いなのでしょう。だとしたら、私はかなりやられてしまいました。

そもそも、「核燃料サイクルは絵に描いた餅」という批判を無視して強引に進めようとしたが、「もんじゅ」が完全に失敗してその挫折は明らかになりました。どこが悪かったのか根本的に見直して、「絵に描いた餅」段階のものを強引に実現しようとしたことを反省してくれているなら、「それでもやっぱり原子力は進めたい」という話が出てきたとしても、私もいちおう真剣に聞いてよく考えてみようと思わないわけでもありません。

しかし、次世代原発とか、小型原発とか、まだ絵にすら描けない段階のものをもってきて、そういうものの開発や建設を検討する、と来ました。

YouTube のようなところで検索すれば、それなりに研究している人たちの話や想像図は出てきますから「少なくとも絵には描けている」と言われるかもしれませんが、「餅米の絵」を見せられて「餅の絵」だと言われている感じがします。

百歩譲って、仮に次世代原発が実用可能なものであるとしても、それを大量に建設するのにどれだけの初期エネルギー投資が必要になるでしょう。それは再生可能エネルギーの発電所の場合も同じところがありますが、発電所は建設時に大量のエネルギー（現時点ではほとんど化石燃料によるエネルギー）を消費してそれから発電年数を重ねることでエネルギー収支をプラスに持っていきます。ですから、短期間に大量に発電所を建設しようとする、それが発電所ライフサイクルとしては非常にクリーンなエネルギーであっても、短期的なエネルギー消費のオーバーシュートを起こします。要するに温暖化対策としては逆行することになります。

「発電所は急激にたくさん作らない、かわりに省エネをできる限り進める」、温暖化対策を言うなら、いかなるタイプの発電所に頼るにしても、ここが基本だと思うのですが、基本の議論が全然見えません。

古いレースカーテン

「萎えそうな状態」から脱出すべく、本題の測定結果の話に移ります。

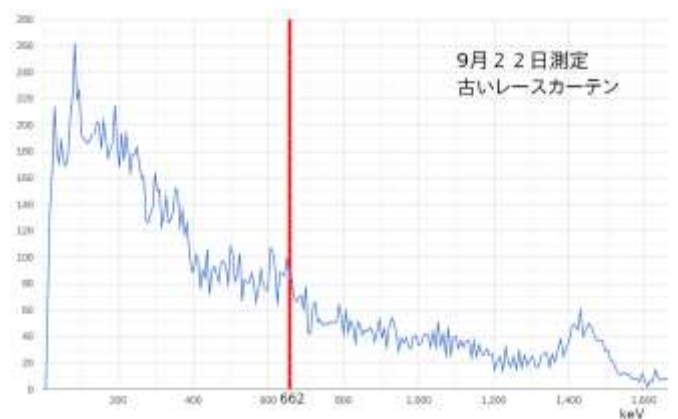
9月22日に「古いレースカーテン」を測定しています。AT1320Aの測定でCs137が52Bq/kgという

数字になっています。一方でEMF211での測定結果は11Bq/kg(9月24日4時間測定),17Bq/kg(9月30日12時間測定)と出ています。

なぜ、3つの測定値がこんなに違うのでしょうか？

測定誤差というのはまず考えられることです。特にAT1320Aの方の結果は、誤差範囲が ± 20 Bq/kgもあります。

さらに自然放射能の影響を考える必要があります。そして、この自然放射能の減衰も考える必要があります。



この9月22日の測定結果のスペクトルを見ると609keVのビスマス214(赤線の左側で600の縦軸メモリの少し右側)がかなり含まれていてその影響があると考えられます。

EMF211の測定結果のスペクトルを見ると9月24日の結果にはかなりビスマス214らしきスペクトルが見えるのですが、9月30日の分にはあまり見えません。ビスマス214は半減期3.8日のラドン222が崩壊してでき、その崩壊過程の元素は全て短時間で崩壊するので、その存在量はラドン222の存在量で決まります。ラドンはガスですがレースカーテンにある程度の量が吸着されていたと思われます。その吸着が外れてガス分子として放出される、3.8日の半減期で崩壊する、2つの理由で吸着されていたラドンが減少したと考えられます。

これらを総合的に見て推測すると、以下です。9/22,52Bq/kgは誤差でかなり高い数値が出た。9/24,11Bq/kgはEMF211の測定で誤差が減った。しかし吸着ラドンの影響があり、内部の計算式の関係でその誤差が数値を低める方に影響した。

9/30,17Bq/kgは吸着ラドンがかなり減少してその影響が減って誤差が減った。

測定前に開放的な空間で数日おいてよく乾燥させておくことで吸着ラドンの影響を減らせるでしょう。

Atomtex AT1320A 測定結果(2022年7月~2022年10月現在)

ゼオライトのCs134 初期値引き算前(Cs134 初期値は30Bq/kg 程度) 不検出は記載していません。

検体	採取	県名	採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
側溝の土	2022.7.10	東京都	八王子市絹ヶ丘	760	1000	1010.0	200.0	55.6	12.3	モニター
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	220	1000	368.0	74.0	29.5	13.6	モニター
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	327	1000	294.0	59.0	22.0	9.2	モニター
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	461	1000	278.0	56.0	8.5	以下	モニター
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	652	1000	224.0	45.0	12.1	4.7	モニター
ペランダ砂埃	2022.10.3	東京都	八王子市本町	22	100	177.0	83.0	103.0	以下	
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	221	500	152.0	34.0	13.2	以下	モニター
崖下の土	2022.9	東京都	八王子市北野台	786	1000	85.3	17.6	11.0	4.2	モニター
木の根元の土	2022.10.18	東京都	八王子市絹ヶ丘	661	1000	74.1	16.0	15.5	5.1	自主測定
ゼオライト	2022.7.2	東京都	八王子市長房町	1103	1000	37.5	8.9	35.3	8.0	
家の土	2022.9.27	東京都	八王子市北野台	1139	1000	69.3	14.0	3.3	以下	モニター
ゼオライト	2022.10.10	東京都	八王子市長房町	997	1000	36.1	8.6	31.8	7.4	
里山の土	2022.9.6	東京都	八王子市中山	850	1000	47.3	10.6	12.0	4.0	モニター
掃除器のゴミ	2022.7.18	東京都	八王子市絹ヶ丘	111	1000	52.7	21.3	28.2	以下	モニター
古いレースカーテン	2016-2022	東京都	八王子市打越町	165	1000	51.7	19.7	25.1	以下	自主測定
里山の畑の土	2022.9	東京都	八王子市中山	997	1000	34.3	8.0	15.4	4.3	モニター
園芸用培養土	2022.10.3	東京都	不明	561	1000	21.5	6.9	6.9	以下	

EMF211 測定結果(2022年7月~2022年10月現在)

検体	採取	県名	採取地	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
側溝の土	2022.7.3	東京都	八王子市北野台	1001	1000	347.6	3.5	6.0	1.1	2時間、 モニター
排水口の土	2022.7.25	東京都	八王子市北野台	777	1000	213.7	2.8	5.5	1.2	2時間、 モニター
シジウカラの巣	2022.7.17	東京都	八王子市北野台	16.7	1000	111.7	31.8	53.3	以下	2時間、 モニター
古いレースカーテン	2016~2022	東京都	八王子市打越町	227.8	1800	16.59	1.45	2.43	以下	12時間測定
古いレースカーテン	2016~2022	東京都	八王子市打越町	234.2	1800	10.55	2.13	3.65	以下	4時間測定
園芸用の土	2022.6	東京都	八王子市	590.6	1000	6.05	1.25	2.08	以下	1時間測定

注) 備考欄の青字「モニター」は次の10年の放射能測定プロジェクトのモニターです。募集が始まりました。

Atomtex AT1320A 土壌の容量別測定実験

同じ側溝の土について1000cc、700cc、500ccの容量別30分測定実験を行いました。

検体	採取	県名	採取地	容量	検体重量 (g)	測定容器 (cc)	Cs137 Bq/kg	下限値	Cs134 Bq/kg	下限値
側溝の土	2022.10.3	東京都	八王子市北野台	1000cc	652	1000	224±45	6.08	12.1±4.7	5.9
				700cc	461		278±56	8.78	不検出	8.5
				500cc	327		294±59	12.6	22±9.2	12.3

700cc、500ccでは、測定結果のCs137 Bq/kg値が1000ccと比べて1.2倍、1.3倍と多く出ています。マリネリ容器一杯の1000cc測定が大切なことが分かります。(佐々木)

10月1日お茶会 「電気料金続々値上げ いったい何が起きているのか？」

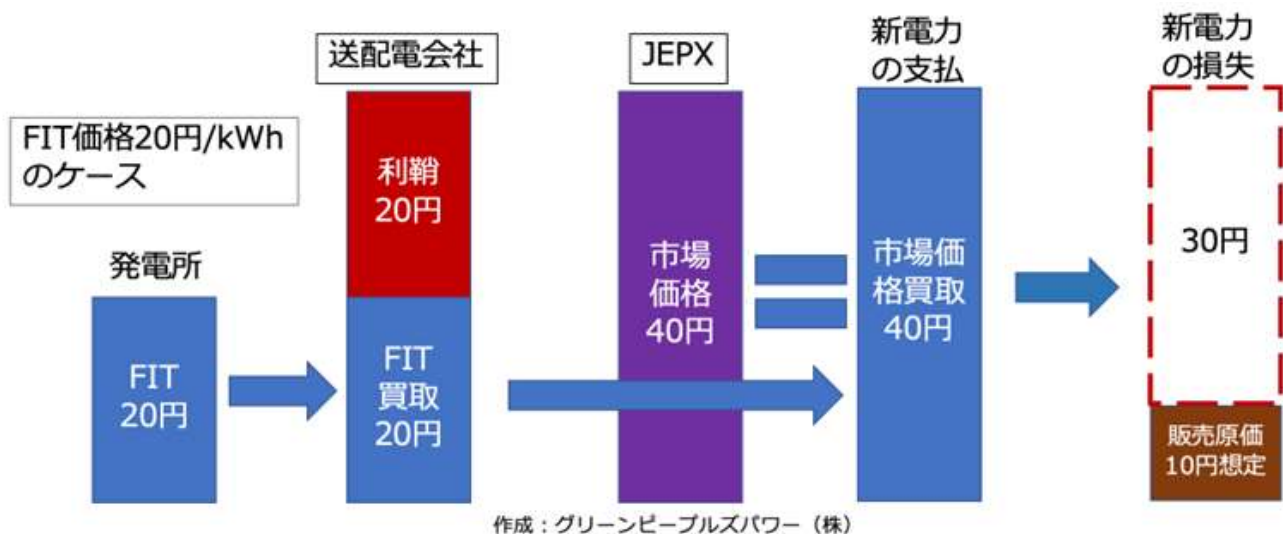
グリーンピープルズパワー株式会社

代表取締役 竹村英明

10月1日にお話した内容を思い切って短く整理してみました。

電気料金がびっくりするほど値上がりしています。これは化石燃料の値上がりが原因で、ウクライナ戦争などの国際的な動きのせいだと言われます。しかしなぜ、化石燃料を使っていない再エネ新電力まで値上がりするのでしょうか？それは日本独自の FIT という再エネ電気の買取制度が原因です。FIT 再エネの電気は、いったん送配電会社が買い取り、新電力は送配電会社から「卸供給」される仕組み。その卸供給価格が市場価格連動制なので、市場価格が高騰すると再エネの価格が上がるのです。とてもおかしな制度で、早くやめるべきです。

図1 新電力は高騰した市場価格で FIT 電気を買わされる

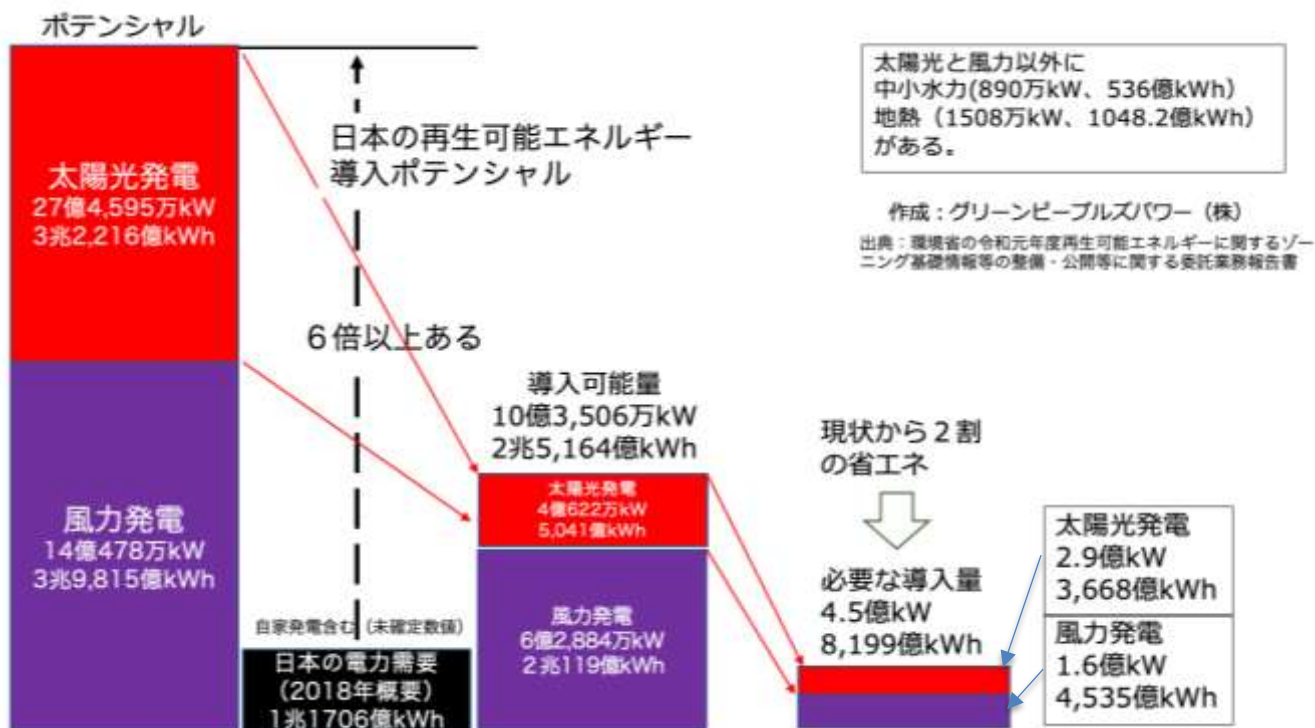


市場価格が高騰するのは化石燃料価格のせいだけでしょうか？確かに天然ガス価格上昇は影響していますが、原因はそれだけではありません。大手電力(東京電力や関西電力など)のシェアが大きく、とくに発電所の80%以上を保有しています。電気の市場は、大手電力から電気を買ってもらう前提でできています。ところが市場に電気を売るルールは、彼らの顧客優先になっています。需要が多いときは、新電力が市場に買付けに行っても品物が無いことも度々。市場に十分な電気が売りに出されていないから価格が上がるのです。それでも停電しませんから、実は電気がないわけじゃありません。新電力が「インバランス」という特別供給になって、市場より高い料金をとられるだけです。このルールがおかしいのですが、政府は正そうとしないどころか、化石燃料価格上昇を理由に、市場への販売価格をもっと上げていいよと決めてしまったのです。

こんな混乱は電力自由化によって起こっています。では電力自由化は悪いのでしょうか？電力自由化そのものは、大手電力会社を発電と小売と送配電の三つに分割し、既得権を奪う良い仕組みです。小売では他の新電力と競争させるので、大手電力は確実に顧客を奪われ、経営が苦しくなります。ところが日本では、経営が苦しくなって大変だよと、大手電力にたくさんの助け舟を出しているのです。発電所を手放す

ように指導せず、シェアをそのままにしているのもその一つです。発電、小売、送配電の三分割も中途半端で止まり、持株会社が親会社として束ねることを認めています。一方で、日本の電力需要の何倍もポテンシャル(潜在能力)を持つ再エネには、「古い発電所」の優先権を盾に送電線への接続を制限してきました。電力不足の背景には、こんな問題もあるのです。

図2 再エネ発電所は日本の電力需要の何倍も作れる



政府が助け舟を出しても大手電力の経営は傾き、政府はますます救済します。新電力、とくに再エネ新電力は、こんな大手電力救済策によって窮地に立たされているのです。こんな状態で小さな新電力は乗り切れるのでしょうか？GPPが見出した道は、「脱FIT・脱市場プログラム」です。FIT電気は使わず、市場からの電気も極力調達しません。そんなことができるの？非FIT風力、非FIT太陽光、そして蓄電池、これらで電気を供給しようと格闘しています。達成すれば、電気の仕入れ価格は非FIT電気の調達価格になりますので、他社よりずいぶん安くなります。もしかすると、ここから気候危機を解決し、再エネ100%社会を実現する道がひらけてくるかもしれません。



【竹村英明さん プロフィール】

グリーンピープルズパワー株式会社代表取締役。

1951年広島生まれ。環境エネルギー政策研究所、飯田市での環境エネルギー事業、エナジーグリーンでの環境価値取引事業を経て、2014年に市民電力連絡会を設立。2015年にイージーパワー(株)を設立、代表取締役。2017年から現職。

Green People's Power



測定室からのご報告とお知らせ

- * 7月2日(土)7月お茶会「原発を並べて自衛戦争はできない」(講師 小倉志郎さん)
元原発技術者の小倉志郎さんによるオンライン講演。ウクライナで戦争が続く今、原発が占拠され、送電線が切られるなど原発は戦時では武器となることがわかる。この小倉さんの講演のタイトルが現実のものとして迫ってくる。詳しくは巻頭の記事をお読みください。(参加者:ワライン 26名、会場 6名、計 32名)
- * 9月3日(土)9月お茶会「暮らしと憲法、原発と憲法」(講師 くぼいなみさん)
憲法学者でも、弁護士でもない普通の市民の久保井さんの「憲法のお話し」は、心から「そう、そう」と頷ける具体的なお話が満載。暮らし中の一つ一つの事柄を「これは憲法 13条で保障されている」などと考えるようになったとか。憲法が身近に感じられる 2時間でした。(参加者:ワライン 28名、会場 4名、計 32名)
- * 10月1日(土)10月お茶会「電気料金続々値上げ いったい何が起きているのか?」(講師 竹村英明さん) 新電力 GPP 代表取締役の竹村英明さんをお迎えし、電気料金値上げの真の原因、また電力は本当にひっ迫しているのか? 原発の再稼働、新增設はそのひっ迫を解消できるのか?などを解説いただきました。最後に再エネ新電力が生き延びる道を示され、大いに希望が持てました。
(参加者:ワライン 43名、会場 4名、計 47名)
- * 11月5日(土)11月お茶会「かくれキニシタン」の上映と関久雄監督のお話し会
毎年佐渡ヶ島の「へっついの家」で行われる保養合宿。そこでの親子のお話に耳を傾けてください。福島原発事故は終わっていません。詳しくは次号で報告。(参加者:ワライン 33名、会場 3名、計 36名)

311 子ども甲状腺がん裁判 原告支援カンパへの渡辺敦雄さんよりのお礼

(原告のメッセージは <https://hachisoku.org/blog/?p=10152> をご覧ください)

多くの方にご支援をいただき感謝いたします。9月7日に原告6人に6万円ずつをお渡しできました。

引き続き支援のカンパをよろしくお願ひいたします。銀行の振込先は次です。

三菱 UFJ 銀行 四谷支店 普通預金 0456934

口座名:弁護士 北村賢二郎 預り金(ベンゴシ キタムラケンジロウ アズカリキン)

注意) 場合により「アズカリキン」という表記が出ないことがありますが、口座番号が合っていれば問題ありません。



～金ハデモ 400 回のご報告～

金ハデモ実行委員会より

ハカルワカル広場が応援している金ハデモは 10月21日(金)に 400回を迎え、多くの方に参加いただきました。お母さんに抱っこされていた女の子は小学生になって、いつも手を振って応援してくれます。そんな長い年月を歩いてきましたが、脱原発は達成できないどころか、政府は再稼働、新增設まで打ち出しました。「地震の国に原発危険、原発止めて子どもを守ろう!」と諦めずに声を上げていきます。応援よろしくお願ひします。

これからの予定 **オンライン・アクセスが難しい方は直接ハカルワカル広場へおいで下さい。**

- * 12月3日(土)12月お茶会...対面のハカルワカル広場で会員交流会、Zoom 配信はありません。
- * 冬季休室 12月24日(土)～2023年1月9日(月)
- * 1月14日(土) 1月お茶会 10月1日の「電気料金続々値上げ～」の復習の会
- * 2月4日(土) 2月お茶会 11年目の土壌プロジェクト報告会、その他
- * 3月5日(日) 映画会(北野市民センター)上映作品未定

会員が減って困っています。
お知り合いをご紹介ください!

次の 10 年の放射能測定プロジェクト
モニター募集中!

「年2回以上定期的に測定」

「測定料無料!」

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F
お電話 問合せ **042-686-0820**
HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

ボランティア、維持会員募集中!
お問い合わせはハカルワカル広場まで
ゆうちょ銀行 00180-8-290904 (八王子市民放射能測定室)
寄付も大歓迎です 他行からの振込は 018-0224460 (八王子市民放射能測定室)